

米大学 野球留学の道

vol.1

College Baseball
in the USA



英語が苦手でも留学はできる

Profile

上野大輝(うえの・だいき)1990年5月17日・群馬県館林市出身。19歳。館林四中の軟式野球部で本格的に野球を始め、太田市商では1年秋に左翼のレギュラーをつかむ。2年春は1番・遊撃で県準優勝、関東大会出場。3年夏は左翼手で県16強。内外野をこなすユーティリティープレイヤー。178cm、77kg。右投左打

解説 根本代表「コミュニティカレッジは基本的に米国籍の志願者は全員入学できる。留学生はある程度の英語力が必要だが、アリゾナ・ウエスタン大のように外国人用英語プログラムが大学のカリキュラムに組み込まれている大学は英語力にかかわらず入学可能。学生として部活動もできる。このような大学は米国内でもごく一部。4年制も含め多くの大学が語学学校を併設しているが、これは一般的に大学とは別物。語学学校に入っただけでは大学の学生とは認められず、運動部には入れない。ちなみに、大学のカリキュラムに含まれていても外国人用英語プログラムで取れる単位はわずか。卒業(準学士取得)するには英語で行われる講義を受講して必要な単位数を修得しなければならない」

とが決まっていました。ところが、高校3年の11月下旬でした。米国で大学の野球部のトライアウトを受けられるという話が転がり込んできました。真っ先に、4か月も練習してないから無理だろうし、そもそも英語ができない自分が米国に入れるはずがない、と思いました。が、野球部のトライアウトに合格すれば入学が確定し、大学で英語を学びながら野球ができるという聞き、心がグツと傾きました。野球は好きですから、米国なら日本の高校や大学とは違った感じで野球を楽しめるのではないかと。トライアウトを受ける大学は4年制ではなく2年制でしたが、NJCAAから08年MLBドラフトで161人も指名されたの聞き、高いレベルでできるの気になりました。しかし、迷いました。友人は「チャレンジしてみよう」と背中を押してくれましたが、けっこうな費用がかかります。不合格になればすべて無駄になります。それでも「トライしてみたい」気持ちを抑えられないほど大きくなり、父は公務員で負担は大きいですが、両親に頼み込んで挑戦を決めました。

解説 根本代表「遠くまでトライアウトを受ける費用は、6泊8日で4校を回るプランで約40万円。航空運賃、宿泊費、移動費、コーディネート費、施設利用費、諸手続き費が含まれ、食費(朝食を除く)や日本での交通費は別」

メモ ナショナルジュニア・カレッジ・アスレチック・アソシエーションの略。NCAA(米国大学体育協会)の2年制大学版。今季は525校が加盟。野球は1~3部に計186校が参加。1部西地区のアリゾナ・ウエスタン大は、ACCAC(アリゾナ・コミュニティカレッジアスレチック・カンファレンス)のリーグ戦(今季は14校が4度総当たりするホームアンドアウェー方式。1校52試合)の成績が反映される。

解説 根本代表「米国の奨学金は返済不要が一般的。能力や実績に応じ内容は様々で、例えば、前期授業料50%支給、または後期授業料全額+教科書代支給、2年目は授業料+寮費の全額支給など」

解説 根本代表「米国の高校の部活はシーズン制で1年ずっと野球をすることがなく、練習量は日本の高校生の方が圧倒的に多い。守備、走塁、知識などのレベルも高く、攻守とも柔らかく、器用で、センスあふれる上野くんは高く評価された。これまでも多くの日本人がトライアウトに合格。奨学金支給が確定した例もある」

フリー打撃をコーチが見ます。その後、チーム練習に参加し、実戦形式で打席に入って遊撃を守りました。帰国前夜、4校合格を知らされてホッとしました。トライアウトで、大学の練習を経験できたことが大きかったです。エンジンョイしている雰囲気を感じ、ここで野球をやりたいと思いました。帰国後、再び迷いました。やはり費用の問題が一番大きかったです。留学中はピザの関係でアルバイトが一切できません。ロースターに残れなかったら、と不安になりましたが、実際の費用はトライアウト分を含めた1年目でも、日本で私立大に入學して1人暮らしするよりも少ないぐらい。さらに2年目は返済不要の奨学金を受けられる可能性もある。何より両親が「ベンチに入れなかつたとしても、米国の経験はお前の人生にプラスになる。決してマイナスにはならない」と言ってくれたので決意できました。留学先にアリゾナ・ウエスタン大を選んだのは、4校のうち唯一、学生寮があつて費用が安くなるからです。

解説 根本代表「アリゾナ・ウエスタン大が算出した見積りは、授業料、寮費(2人部屋)、1日2食(朝夕)の食費、保険代で年間1万1850ドル(約107万円)。入学金、部費、遠征費は不要だが、入学や入寮など大学側との様々な交渉や手続き、ピザ申請などを代行してもらつた留学サポート費が40万円前後かかる。これにトライアウト費用の約40万円を加えても約187万円(遠征費、教科書代は別)。文部科学省の調査によると、08年度の私立大入学者初年度納付金(入学金+授業料+施設設備費)だけで平均114万8747円(文科系学部)。受験費用やアパート代、光熱費、食費を加えた5200万円を超える」

メモ 大学のリーグ戦でベンチ入りできるメンバー。今季のアリゾナ・ウエスタン大は24人。米国の学年度が始まる9月から12月くらいまで40~60人が争い、ロースター入りした選手が1月下旬から5月下旬までのリーグ戦、チャンピオンシップに出場可能。

米大学野球留学に関する問い合わせは、TEL.03(3230)0036 アスリートブランドジャパン株式会社 (<http://www.athlete-brand.com/>)まで。



トライアウトのフリー打撃



暑いアリゾナではTシャツとハーフパンツが練習着

思いもよらぬ挑戦



夢にも思いませんでした。自分が米国の大学で野球をしているなんて。高校時代は英語が苦手でしたから、留学なんて考えたことすらありませんでした。高校3年の夏、群馬大会4回戦で敗れ、これで野球は諦めるつもりでした。毎日毎日きつい練習を続けてきたので、これ以上はいいやと。日本の大学の上下関係が厳しい体育会も自分には合わない気がしたので、野球から離れ、埼玉県の大学に進学するこ

解説 根本代表「米大学野球部のトライアウトは日本人が対象。米国人は高校の段階でスカウトされる。トライアウトでは大学コーチ陣に参加者の様々な面を見てもらうため、参加者も部の雰囲気を感じられるように、チーム練習に参加できるよう交渉している。だが、タイミング、コーチのその場の評価によっては日本人だけでフルベンチでの投球、フリー打撃、悪人ノックで發することもある」

解説 根本代表「米大学野球部のトライアウトは8月、10月をメインにしている。参加者の高校最後の夏に近く、大学側の奨学金支給枠に空きがあるため、2月に受けた上野くんには奨学金の枠が残っていた。また2月はリーグ戦の真っ最中で、大学のコーチ陣もトライアウトにじっくり時間を割けないことがある。米大留学希望者には、高校野球を終える前に決断することを勧める」

両親の言葉で決意

トライアウトを受けるアリゾナ州の2年制大のリーグは木製バット。それに慣れることに重点を置いた練習を母校で約2か月積み、翌09年2月に渡米して4校のトライアウトに挑みました。すべて日本から行った自分を含む3選手のためだけのもの。形式は大学によって様々。それも当日、大学のグラウンドに行ってみないと分かりませんでした。アリゾナ・ウエスタン大では、まずチームの練習前に個人ノックと



アリゾナ・ウエスタン大のグラウンドでトライアウトに臨む上野



ベンチで監督の話を聞く上野(前列右端)らアリゾナ・ウエスタン大のナイン

どこで野球をつづける?

how to keep playing baseball

卒業したら、どこで野球を続けていくか。高校球児にとって大きな問題だ。プロ、独立リーグ、大学、企業チーム、クラブチーム…。報知高校野球は、米アリゾナ州ユマのコミュニティカレッジ(2年制の公立校)、アリゾナ・ウエスタン大で活躍する上野大輝二塁手(1年)に注目。09年春に太田市商(群馬)を卒業して太平洋を渡った19歳の体談を紹介する。詳細がわかりづらい部分については、スポーツ留学をサポートしているアスリートブランドジャパン社の根本真吾代表による解説を追加。野球を武器に米大学へ留学する道を探る。さらに今回は設立4年目を迎えたBCリーグの実態も調査した。